

# 2026年3月期 第2四半期決算説明資料 トレーダースホールディングス株式会社

証券コード：8704  
2025年10月31日



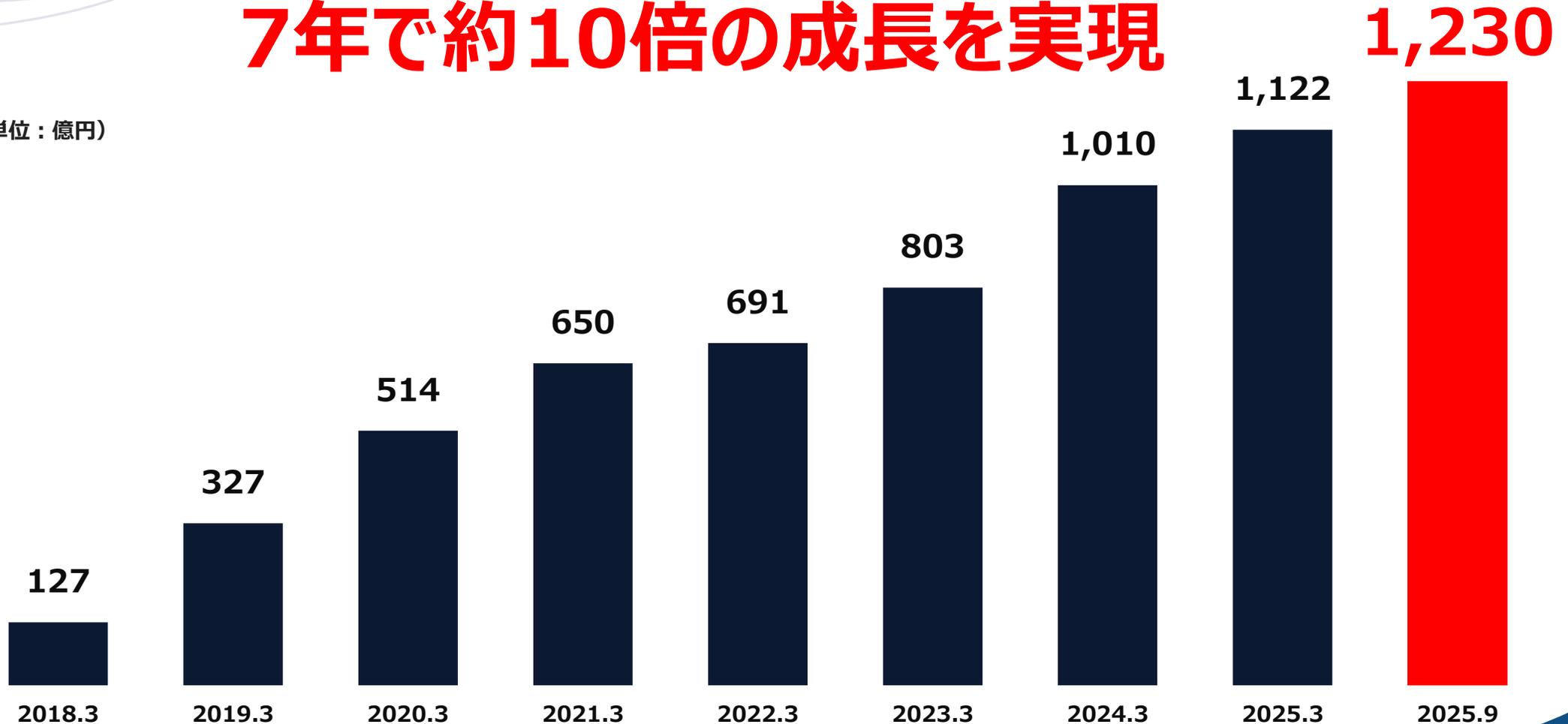
JPX-NIKKEI Mid Small



金融を、もっと面白く。

# 預り資産は 1,200億円台に到達 7年で約10倍の成長を実現

(単位：億円)



金融を、もっと面白く。



**3年連続で「JPX日経中小型株指数」構成銘柄に選定**



**JPX-NIKKEI Mid Small**

**2023 - 2025年度選定**

「Forbes Asia's 200 Best Under A Billion」に  
2年ぶりに再選出！

Forbes Asia  
BEST UNDER A  
BILLION

新CMにロバート秋山竜次さんを起用！7月より放映開始！

金融を、もっと面白く。



FXを、みんなでもっと面白く

# みんなのFX



# 当社グループの競争優位性（金融とシステムの融合）

金融を、もっと面白く。



01

## Cost

完全子会社であるグループ内システム会社による自社開発であるため、グループ全体としては

**原価でシステム開発が可能  
開発コストを低減**

02

## Speed

トレーダーズ証券とシステム開発担当者が同一オフィス内において現場との密接な連携が可能  
コミュニケーションロスがなく  
改善点の吸い上げ・即時修正対応が可能

**サービスリリースまでの  
早期化が可能**

03

## Quality

**20年以上、FXシステムを  
開発してきたエンジニア**たちが  
当社FXシステムに専念し

**圧倒的な安定性と利便性  
処理速度**を実現

04

## Know-How

長期間FXに関して携わってきたことによる経験によって  
**高い問題解決能力を保持**

自社内にノウハウは蓄積され  
将来に渡って**競争力の源泉に**

- 1 2026年3月期 第2四半期業績ハイライト**
- 2 2026年3月期決算 業績予想**
- 3 業績予想達成に向けた2026年3月期の施策進捗**
- 4 安定的な収益確保に向けた新施策進捗**
- 5 資本政策**
- 6 Appendix**

金融を、もっと面白く。

Traders

# 2026年3月期 第2四半期 業績ハイライト

# 2026年3月期 上期 エグゼクティブサマリー

金融を、もっと面白く。



日銀による為替介入や令和のブラックマンデーなどの大規模な相場変動が発生し上期として過去最高の営業収益・利益となった前年同期と異なり、当期上期は大きな相場変動が見られずレンジ相場を形成  
営業収益および各段階利益は前年同期比で減収減益となるも、取引量が少ない状況でも安定的な収益を確保  
一方で、スワップ競争が激化する中、主力サービス『みんなのFX』における“LIGHTペア”導入やキャンペーン施策等の効果的なマーケティング施策により着実な預り資産の増加を実現 中長期的な収益基盤を構築

業績予想達成に向け、**下期に市場環境の変化を捉えるための準備は万全**

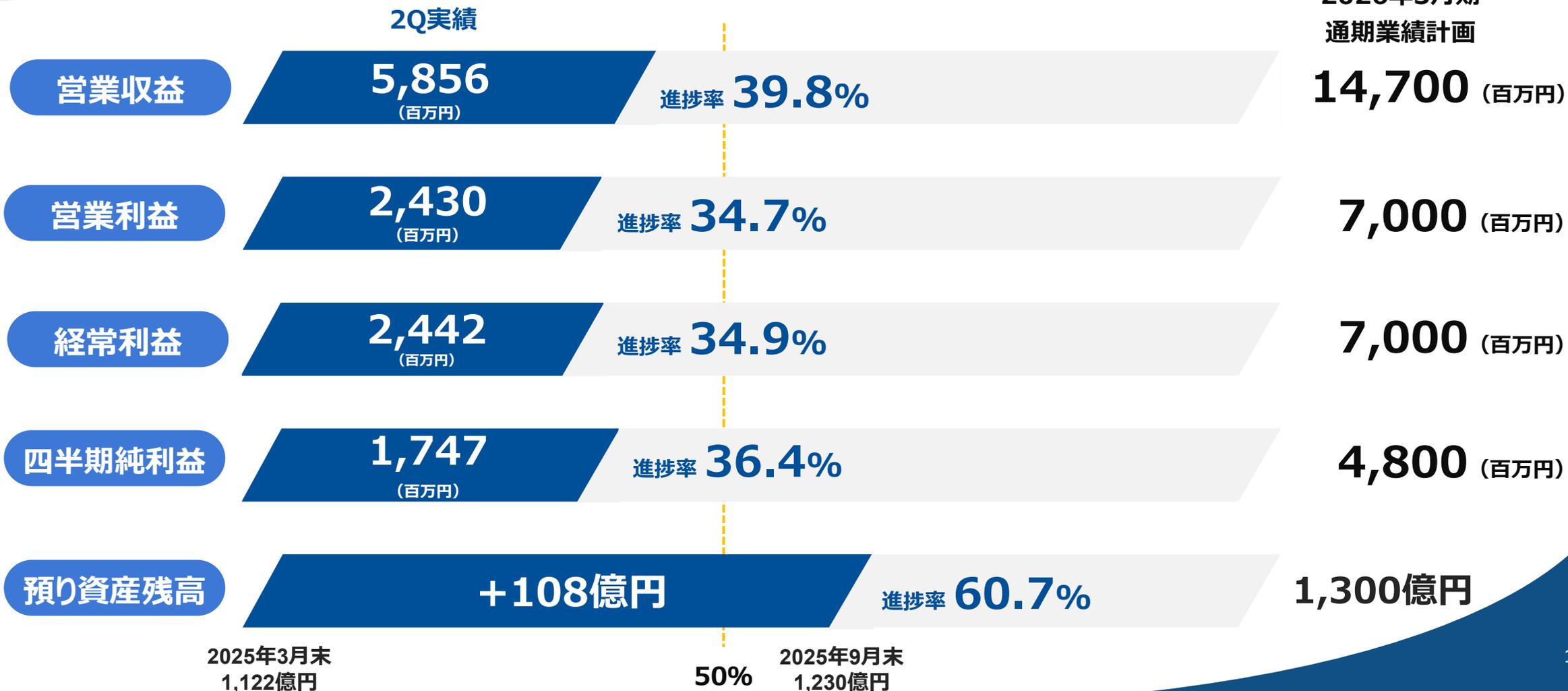
	2025年3月期 上期	2026年3月期 上期	前年同期比	
営業収益	7,657 百万円	5,856 百万円	▲ 23.5 %	➡
営業利益	4,273 百万円	2,430 百万円	▲ 43.1 %	➡
当期純利益	2,885 百万円	1,747 百万円	▲ 39.4 %	➡
預り資産	1,122 億円 (2025年3月期末)	1,230 億円	前期比増減 + 108 億円	⬆

# 四半期連結業績進捗率

金融を、もっと面白く。



上期は取引レンジが限定的な状況となり、営業収益および各段階利益の進捗率は50%を下回ったが、収益基盤となる預り資産の増加進捗率は50%を超過 **相場変動時の収益獲得可能性は高まる**

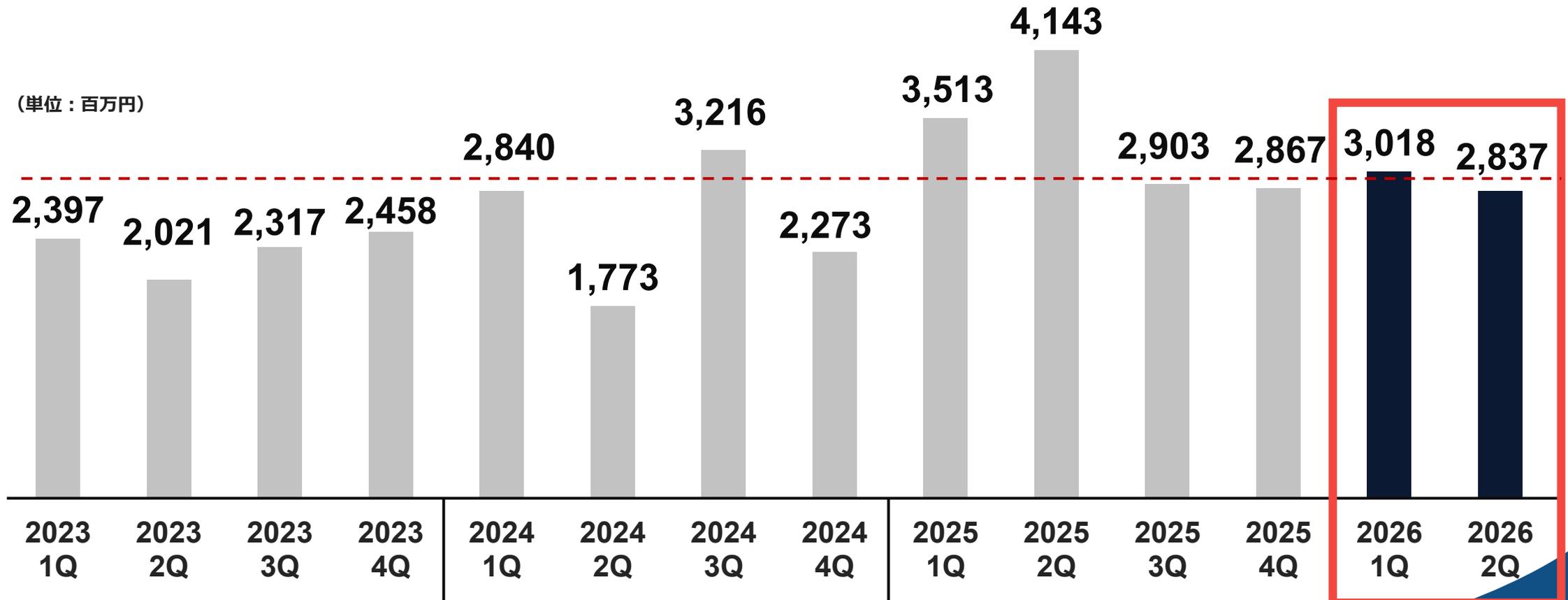


# 業績推移（営業収益）

金融を、もっと面白く。



- ✓ 前期下期から続く限定的な相場環境でも四半期ごとの営業収益は約30億円となり安定的に収益を獲得
- ✓ 低ボラティリティ期間の平均収益力は、相場変動の著しい前期上期および前々期第3四半期以外の過去四半期を上回る水準となり、預り資産の積み上げにより着実にベース収益力は上昇

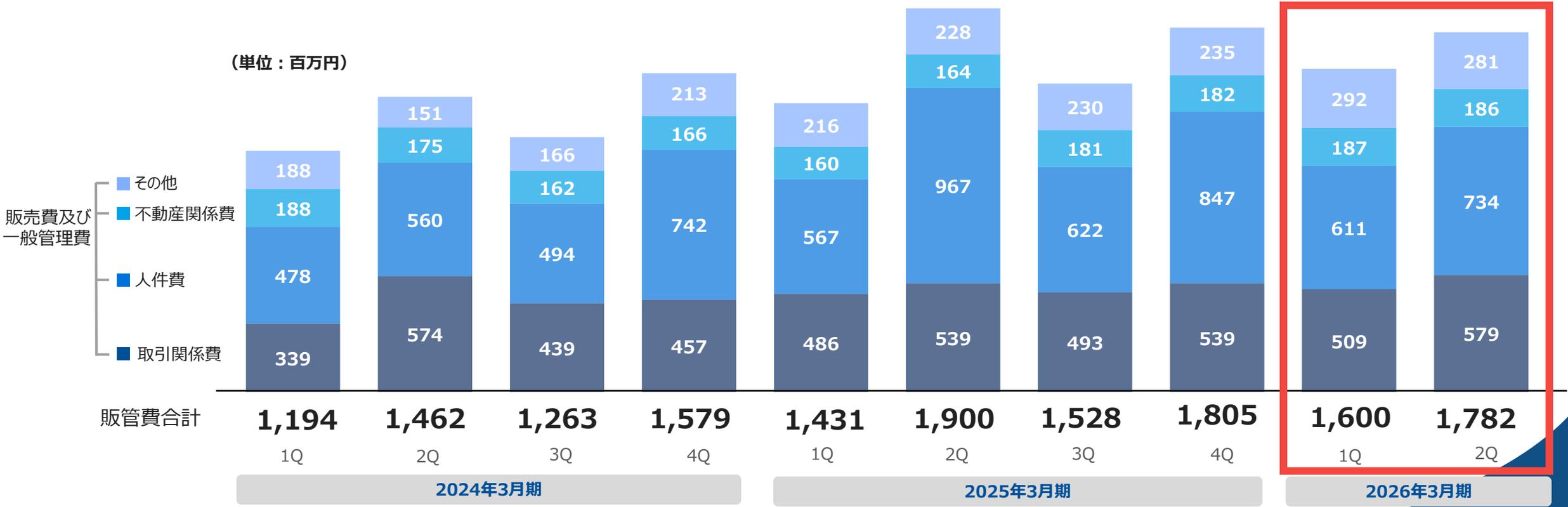


# 販管費の推移

金融を、もっと面白く。



- ✓ 預り資産の中期経営計画目標達成に向け広告宣伝活動に引き続き注力  
 広告宣伝費（取引関係費）は費用対効果を勘案しつつ計画的に投下
- ✓ 優秀な人材獲得は引き続き重要な経営課題 高ROEと高賃金の両立の追求を継続させるべく人的資本投資を強化  
 人件費は遡増傾向（前期第2四半期は会計上の見積もり変更反映による一時的増加約2.5億を含む）
- ✓ 四半期会計期間における販管費合計額は第2、第4四半期において増加する傾向



# 【参考】連結業績の四半期ごとの比較

金融を、もっと面白く。



(単位：百万円)	2025年3月期				2026年3月期		前年同期比
	1Q (2024年4-6月)	2Q (2024年7-9月)	3Q (2024年10-12月)	4Q (2025年1-3月)	1Q (2025年4-6月)	2Q (2025年7-9月)	
営業収益	3,513	4,143	2,903	2,867	3,018	2,837	▲31.5%
営業利益 (利益率)	2,054 (58.5%)	2,219 (53.6%)	1,337 (46.1%)	1,022 (35.7%)	1,395 (46.2%)	1,034 (36.5%)	▲53.4%
経常利益 (利益率)	2,051 (58.4%)	2,233 (53.9%)	1,332 (45.9%)	1,033 (36.0%)	1,413 (46.8%)	1,029 (36.3%)	▲53.9%
四半期純利益 (利益率)	1,485 (42.3%)	1,400 (33.8%)	939 (32.4%)	721 (25.2%)	1,079 (35.8%)	668 (23.5%)	▲52.3%

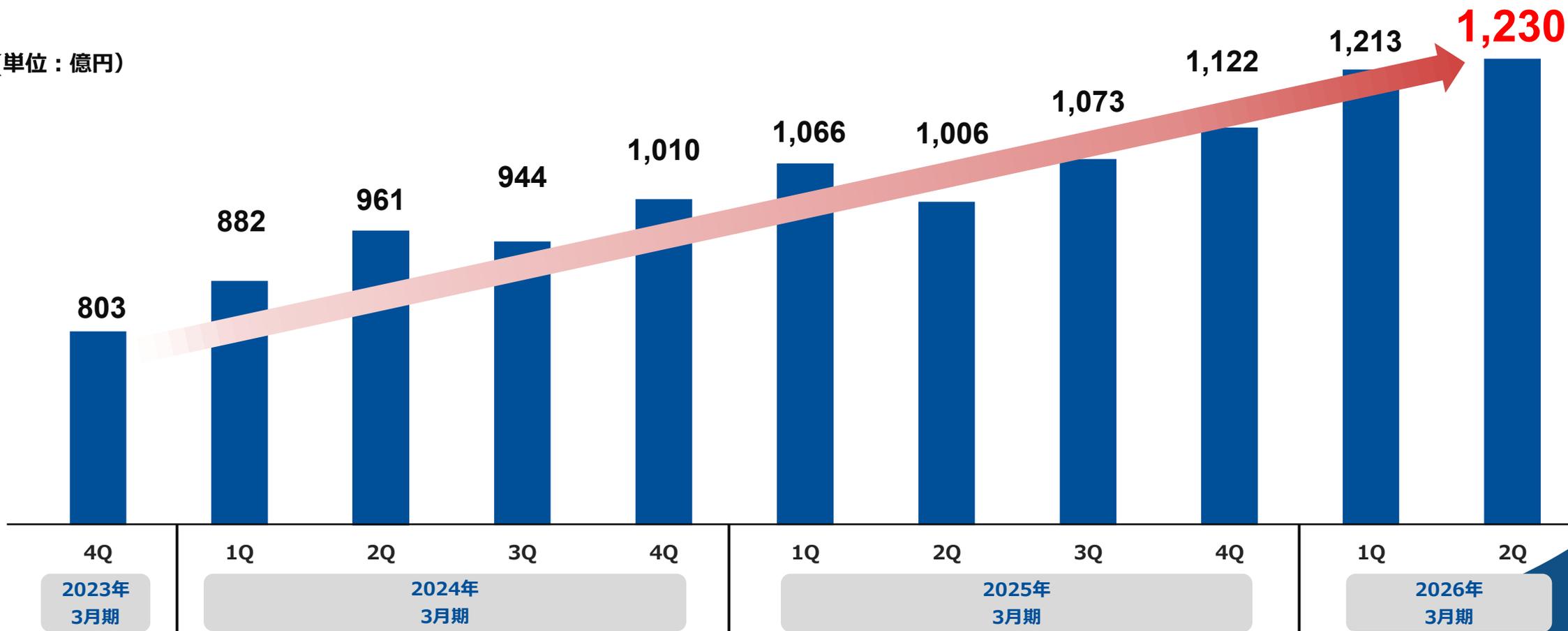
# 預り資産推移

金融を、もっと面白く。



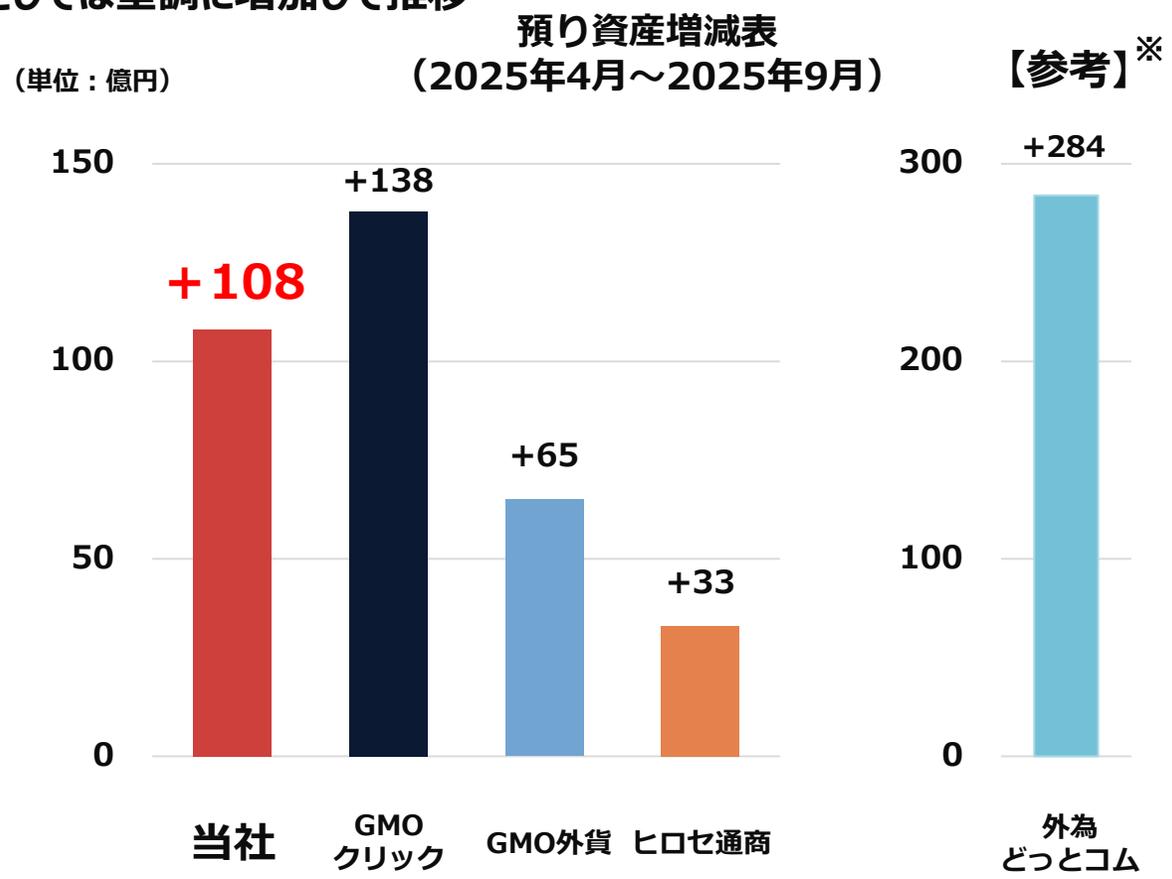
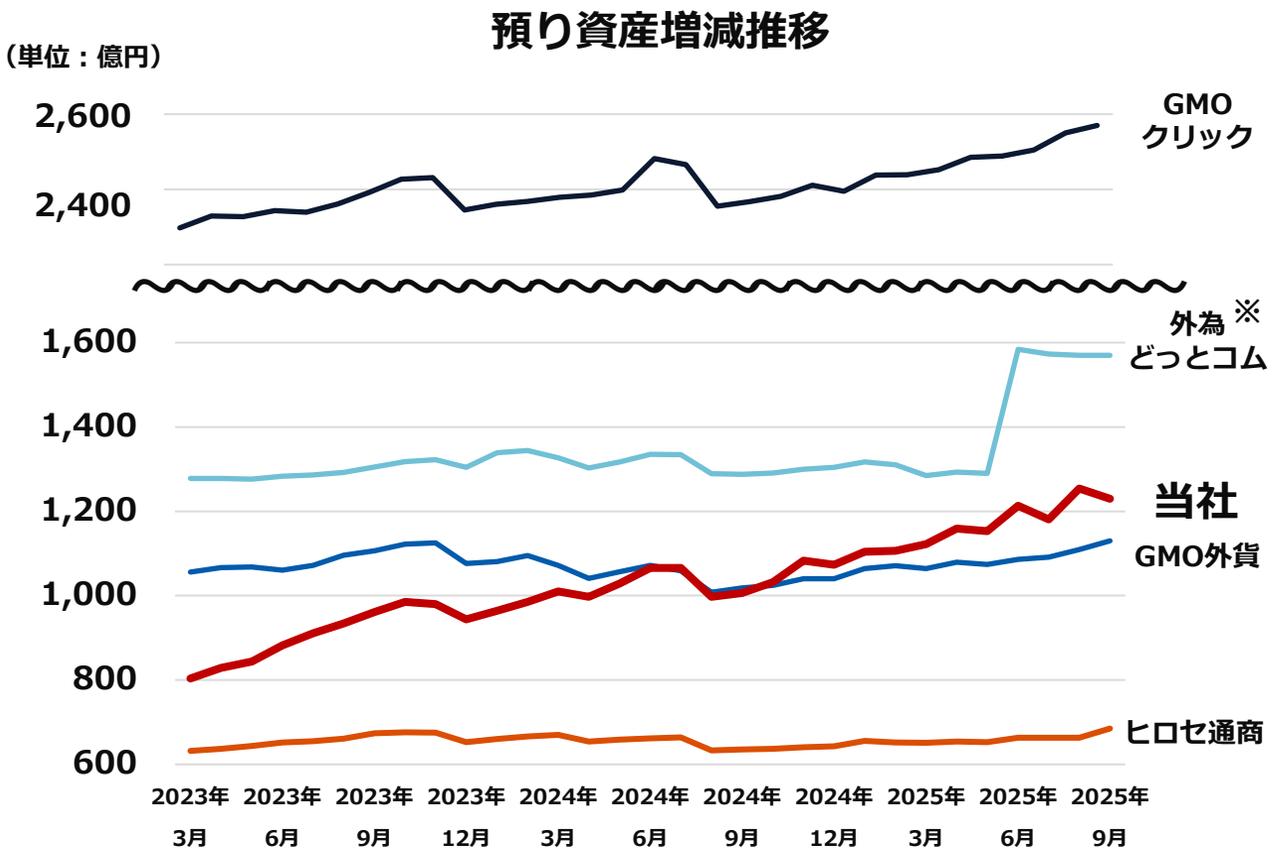
- ✓ スワップ訴求戦略は、『みんなのFX』におけるLIGHTペア追加を契機にさらなる進化を遂げ、  
預り資産は順調に増加 顧客ニーズを着実に捉え、半期会計期間において**108億円超の積み上げを達成**

(単位：億円)



# FX業界における預り資産他社比較

- ✓ 当社のスワップ戦略を意識した他社による攻勢によりスワップ競争が過熱する中において、当社は上期累計で預り資産増加額は2位を確保
- ✓ 収支バランスを欠いた過度なスワップ提示を行うと営業収益を大きく毀損するため、各社の動向を注視しつつ、当社は顧客に対して最良の条件を長期・安定して提供し続けることと、健全な成長の両立を実現していく方針
- ✓ 当期は顧客還元を強化し、月毎に大型キャンペーンを戦略的に配置、その影響によりキャンペーン期間末の駆け込み入金増加と翌月の反動による出金増加が生じ、各月で預り資産残高に凹凸が見られるが、基調としては堅調に増加して推移



出典：FXに関する月次預り資産をウェブサイト又は開示書類で公表している企業より掲載しております。

※外為どっとコム社の預り資産は2025年6月28日に行われたマネーパートナーズ社とのサービス統合に伴う移管分が含まれているため参考として記載しております。

# 2026年3月期第2四半期 市況概況①

USDJPY (日足チャート)



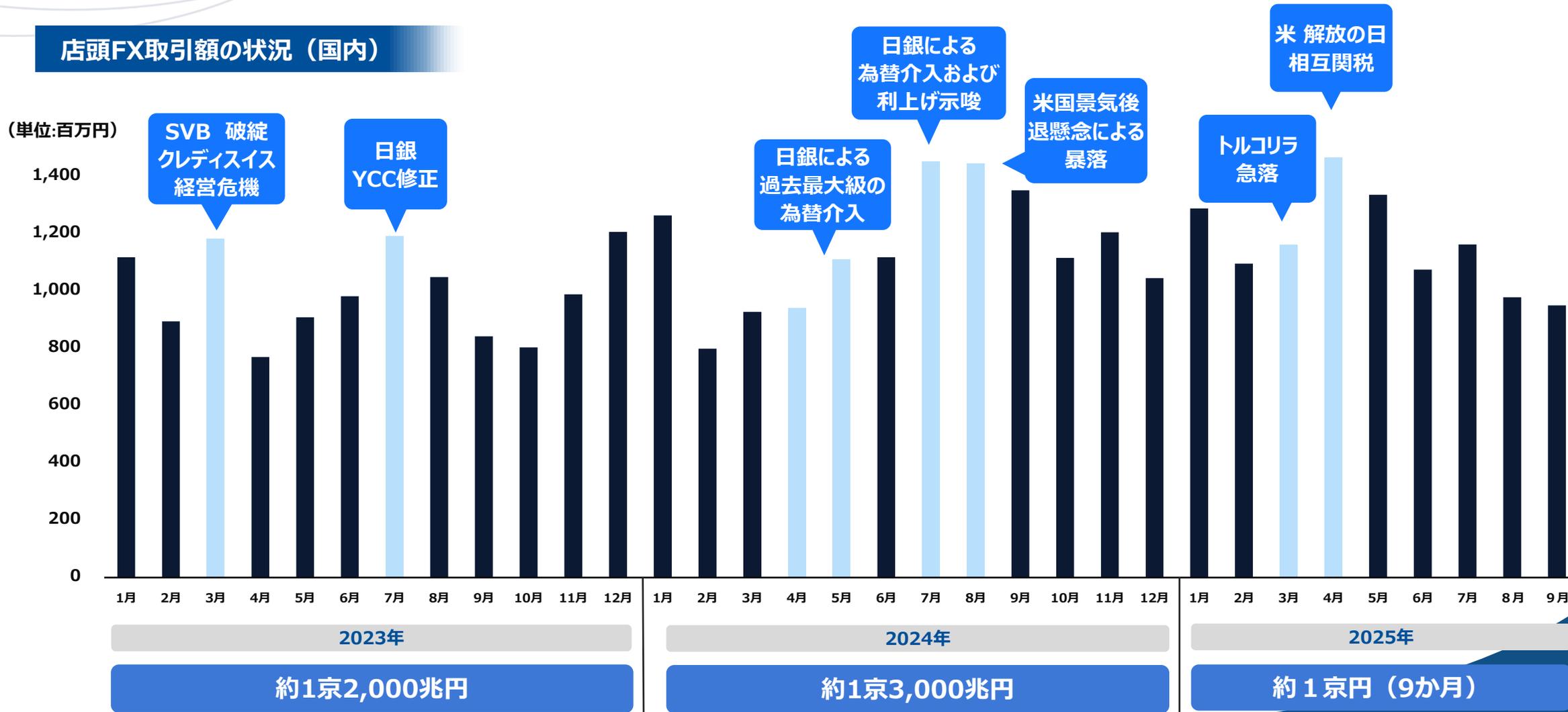
## 市況概況

第2四半期のドル/円相場は、7月30日の日銀政策金利据え置き決定により円安基調に動く。8月1日には米国雇用統計の過去二か月分の雇用者数が大幅に下方修正されたことにより相場環境は大きく変化。8月上旬以降9月下旬まで落ち着いた相場環境となりつつも9/25にGDP確報値が上方改定され円安方向に動いた。

# 2026年3月期第2四半期 市況概況②

- ✓ 第2四半期はいわゆる夏枯れ相場となり、市場参加者の不在の状況化において値動きは限定的
- ✓ 日米金融政策においてもサプライズはなく、終始レンジ相場が続いたことで出来高は減少

## 店頭FX取引額の状況（国内）



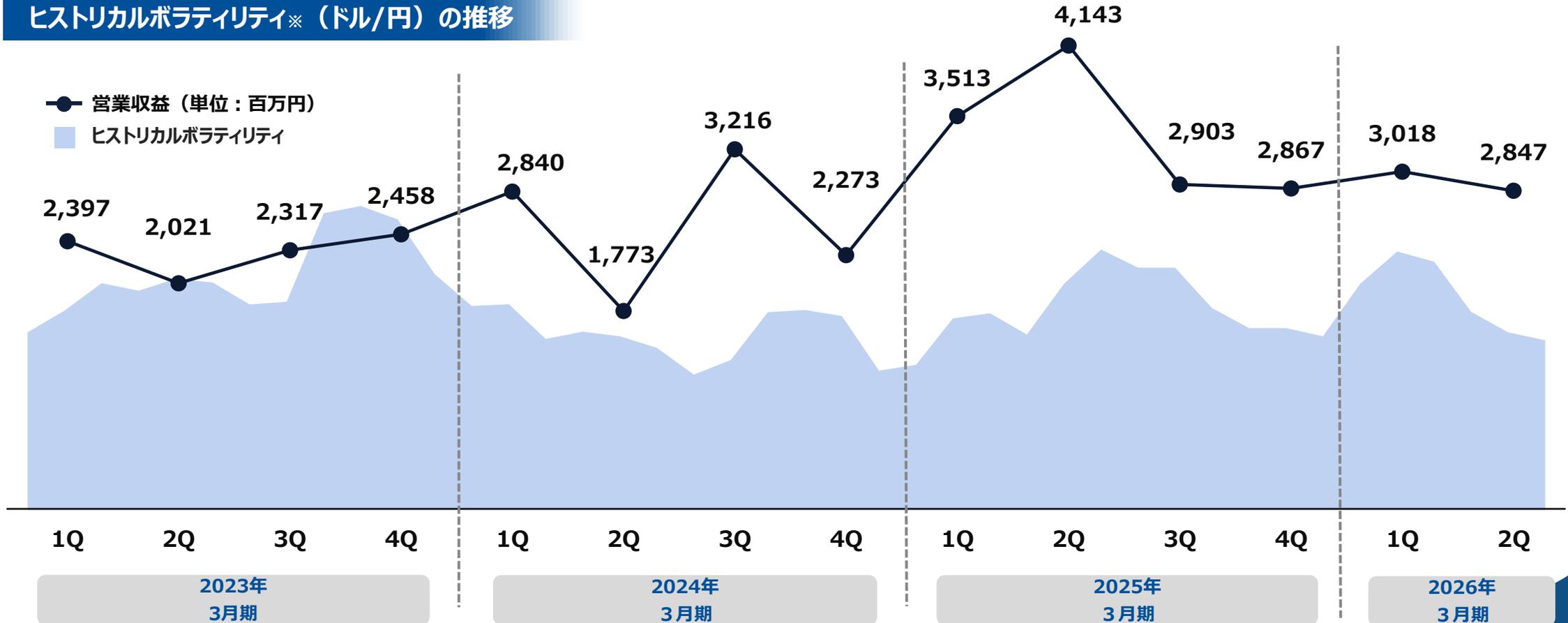
# 2026年3月期第2四半期 市況概況③

金融を、もっと面白く。



- ✓ 第2四半期はレンジ相場を形成し落ち着いた相場環境が続きヒストリカルボラティリティは低下
- ✓ 夏枯れ相場という厳しい環境においても預り資産の増加を礎に収益は安定化

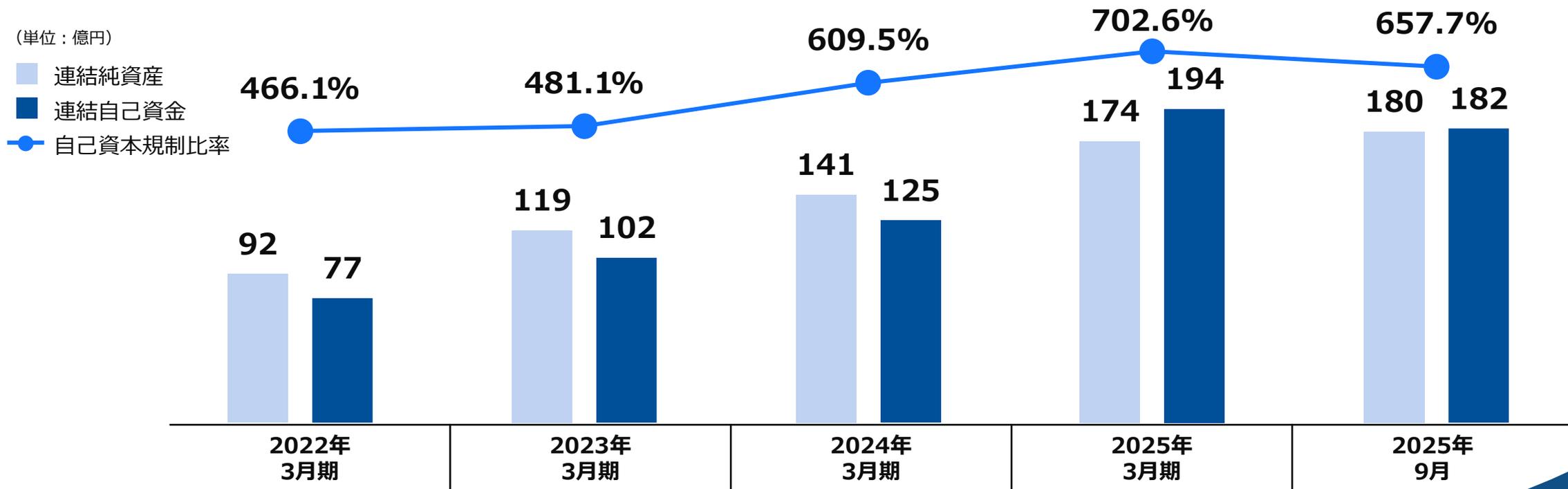
ヒストリカルボラティリティ※（ドル/円）の推移



※ヒストリカルボラティリティとは、テクニカル分析手法の一つで、過去のデータに基づいて統計的に算出した価格の変動率のこと。  
過去の価格変動が小さければ、ヒストリカルボラティリティは小さくなり、過去の価格変動が大きければ、ヒストリカルボラティリティも大きくなる。  
上図では四半期会計期間である過去60日の値動きデータに基づき計算。

# 連結純資産および連結自己資金並びに財務安全性の推移

- ✓ 自己資本規制比率は600%超で推移し、ストレステストの余裕率も上昇、将来のFX事業拡大に対するリスク許容度が向上
- ✓ 預り資産が増加している中で相場環境の活発化に伴いリスク量が増加傾向にあるが、リスク合計が資本を上回ると規制に抵触し取引抑制を余儀なくされ収益機会を逃す可能性が生じる
- ✓ トレーダーズ証券の資本の積み上げが収益機会獲得のため非常に重要であり  
当社における内部留保の積み上げは事業への再投資と同義



(注) 連結自己資金 = 連結現金預金 + 短期差入証拠金 - 有利子負債  
(資金のうち顧客分別金を除いた当社グループに帰属する短期の自己資金)

金融を、もっと面白く。



# 2026年3月期決算 業績予想

# 2026年3月期 通期連結業績予想

金融を、もっと面白く。



- ✓ 通期業績予想は預り資産増加に基づく収益を統計的に見込んで算出 預り資産は計画を上回る進捗を達成 第3四半期以降の市場動向を見極めつつ、**通期業績予想は据え置き**
- ✓ 年度計画に対する収益利益の進捗率は抑制的ながら、預り資産は順調に積み上がり計画超過 **下期における収益拡大余地は十分に確保**  
預り資産目標の1,300億円達成と成長に向け、下期は新通貨ペア導入等の施策を推進し収益基盤を強化
- ✓ 収益機会をしっかりと捉えることで、計画達成に向け巻き返しを図る

(単位：百万円)	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (予想)	増減
営業収益	13,429	14,700	+1,270
営業利益 (営業利益率)	6,634 (49.4%)	7,000 (47.6%)	+365 (▲1.8%)
経常利益	6,650	7,000	+349
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,547	4,800	+252
預り資産	1,122億円	1,300億円	+177億円

金融を、もっと面白く。

Traders

# 業績予想達成に向けた2026年3月期の施策進捗

## 2026年3月期の取り組み（商品性）

金融を、もっと面白く。



▶ 「みんなのFX」「LIGHT FX」に通貨ペアが新規追加 超低金利のスイスフランと新興国通貨の組み合わせで **当社史上最高のスワップポイントを提供**

- ✓ 超低金利のスイスフランと新興国の高金利を掛け合わせた通貨ペアで **当社史上最高のスワップポイント**
- ✓ 超低金利のスイスフランを軸とするフランキャリー取引は**ほぼ当社独占状態**
- ✓ 顧客から高い支持を得て、激化するスワップ競争をリード

2025/9/29 新通貨ペア取引開始

**当社史上最高の売スワップポイント<sup>※</sup>が貰える!?**  
※売ポジションを保有して翌営業日まで持ち越した際に付与されます。

**超低金利通貨** × **高金利通貨**

 **スイスフラン**

 **トルコリラ**  **南アフリカランド**  **メキシコペソ**

その他2種類の通貨ペアを新規追加!

# 2026年3月期の取り組み（商品性）

金融を、もっと面白く。



▶ 高水準のスワップポイントが魅力の「トルコリラ/円 LIGHT」「メキシコペソ/円 LIGHT」「南アフリカランド/円 LIGHT」において建玉上限を引き上げ スワップポイントの提供を強化

- ✓ 建玉上限の水準に達するお客様が増え、「上限を引き上げてほしい」というご要望が数多く寄せられる
- ✓ 顧客ニーズに応えるべく、高水準スワップポイントの通貨ペアにて建玉上限を引き上げ
- ✓ 資金力のあるお客様からの預り資産増加を実現 取引量増加および離脱防止を狙う

みんなのFX

## 建玉上限を引き上げます!

通貨ペア	旧建玉上限	新建玉上限
トルコリラ/円 LIGHT	100 Lot	200 Lot
メキシコペソ/円 LIGHT 南アフリカランド/円 LIGHT	300 Lot	500 Lot

変更適用日：2025年9月22日(月)

# 2026年3月期の取り組み（マーケティング）

▶▶ ロバート秋山さんを新CMに起用！7月より放映開始！

ロバート秋山さんの個性的な表現力を活かし、FX未経験者、経験者ともにブランド認知度向上へ

- ✓ ロバート秋山さんが様々な職業の最前線に立つ人になりきって演じる「クリエイターズ・ファイル」より、4人をイメージキャラクターとして起用
- ✓ 当社の強みである**スワップポイント投資の魅力について訴求**
- ✓ 新CM 特設ページ <https://min-fx.jp/specialpage2025/>



# 2026年3月期の取り組み（マーケティング）

## ▶▶ 2025年4月～9月 キャッシュバックキャンペーンや各広告施策を強化 預り資産および新規口座獲得数は順調に増加

- ✓ 「総額3,000万円山分けキャンペーン」  
「40%スワップ増額キャンペーン」  
「ご入金で最大3%キャッシュバックキャンペーン」  
「スワップNo.1チャレンジキャンペーン」  
等の魅力的なキャンペーンを複数開催  
預り資産増加、顧客満足度向上、  
顧客収益機会拡大に寄与



- ✓ 広告施策の強化等により  
**新規口座獲得数も順調に増加**
- ✓ FX投資未経験者層に向けた訴求を強化し、  
さらなる新規口座開設獲得数の増加を図る



## 2026年3月期の取り組み（大口顧客戦略）

金融を、もっと面白く。



### ▶▶ 大口顧客に向けた新たなサービス ロイヤル 트레이ダーズクラブを8月よりオープン

既存のロイヤル顧客に加え、潜在的なロイヤル顧客層を開拓 既存顧客の成長および離脱防止に注力

- ✓ 当社が定める条件を満たした顧客のみを招待する完全招待制にて運営
- ✓ 取引量に応じたステータス制度を導入し、透明性を高めることで**顧客のモチベーションを喚起** 離脱防止とロイヤリティ向上を目指す
- ✓ クラブ会員の顧客を対象に、著名講師による特別講演・講義・交流会へのご招待を実施  
トレードリテラシーの向上を図るとともにお客様の投資体験をより充実させ、取引量拡大を目指す



# 2026年3月期の取り組み（カバー取引収益性）

金融を、もっと面白く。



- ▶▶ 収益性の向上を目指し、Prime Brokerage契約の拡充を計画  
国内外の金融機関をカバー取引先として追加し、より良い取引条件の提供とリスク分散を実現

## 【主要なカバー取引先】

- ・ シティバンク
- ・ UBS銀行
- ・ バンク・オブ・アメリカ
- ・ スタンダードチャータード銀行
- ・ バークレイズ銀行
- ・ コメルツ銀行
- ・ 大和証券
- ・ OCBC証券
- ・ JPモルガンチェース銀行
- ・ ドイツ銀行
- ・ 三菱UFJ銀行
- ・ 三井住友銀行

## 【2026年3月期】

- ・ ゴールドマンサックス証券追加（6月）



**全20社超の金融機関  
カバーコスト削減による  
収益最大化**

金融を、もっと面白く。



# 安定的な収益確保に向けた新施策進捗

みんなのシストレ

成長  
戦略

## 方針

唯一性の高い  
フォロートレードに加え、

リピート系ストラテジーの  
大幅拡充および強化

## 2026年3月期施策

- ①新通貨ペア追加  
リピート系ストラテジーの優位性を発揮できる  
**レンジ相場を形成しやすい通貨ペアを導入** (次ページへ)
- ②リピート系のストラテジー追加 & 特許出願  
当社独自の仕組みとして  
数種類のリピート系ストラテジーの**特許出願を完了**  
**ビジネスモデル特許による知的財産保護により競争優位性を確保**

## 開発進捗および予定

前期よりシストレ強化策を実行中

- ①2025年3月期  
自社開発システムへのリプレイス完了、ネックとなっていた  
約定処理能力は飛躍的に向上
- ②2026年3月期  
MT4→MT5への載せ替え完了予定 シストレ成長戦略の懸念点を解消
- ③2027年3月期  
**本格的な成長フェーズ入り**  
**UI/UXの改修やマーケティング施策等を強化**  
**預り資産増加へ**

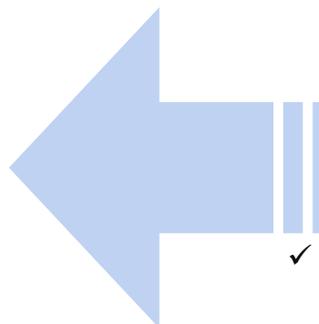
# みんなのシストレ 新通貨ペア導入

▶▶ 2026年3月以降のみんなのシストレ本格成長フェーズに向け  
レンジ相場を形成しやすい特性を持つ「豪ドル/カナダドル」「ノルウェークローネ/スウェーデンクローナ」の  
2通貨ペアを9月より新たに追加

- ✓ レンジ相場にて大きな収益力を発揮するみんなのシストレと相性のいい通貨ペアを導入
- ✓ 今後多様な通貨ペアを順次導入し、お客様の選択肢を拡充 シストレにおける取引機会拡大を目指す

レンジ相場形成しやすい特性を持つ  
通貨ペア

みんなのシストレ



豪ドル / カナダドル

- ✓ それぞれが資源輸出国の通貨であり、  
どちらも資源価格と強く連動する傾向があり  
相関が高く比較的レンジ相場を形成しやすい



ノルウェークローネ / スウェーデンクローナ

- ✓ どちらも北欧の小国通貨
- ✓ 地理的・経済的結びつきが強く  
レンジ相場を形成しやすい

他通貨ペアも順次追加予定

# みんなのオプション 方針および強化施策

金融を、もっと面白く。



## Before

- ① システム開発力の不足  
「みんなのFX」、「LIGHT FX」を優先し  
「みんなのオプション」への**開発リソースが不足**
- ② 専任人材不足  
リスクテイクが困難となり、  
**ペイアウト率が低下、商品性が劣後**



## 現在

- ① 「みんなのFX」「LIGHT FX」の開発が一巡し  
**システム開発リソースの配分が可能に**
  - ・「みんなのオプション」へのシステム開発を本格的に着手可能に
  - ・UI/UXの改善を行い取引画面を進化
- ② 組織強化  
**専任人材を配置しリスク管理体制を強化**  
→ペイアウト率の向上により顧客への還元を拡大

競争力低下  
市場シェア低下

他社と同等以上のサービスを提供  
バイナリーオプションの  
市場シェア奪還へ

金融を、もっと面白く。



# 資本政策

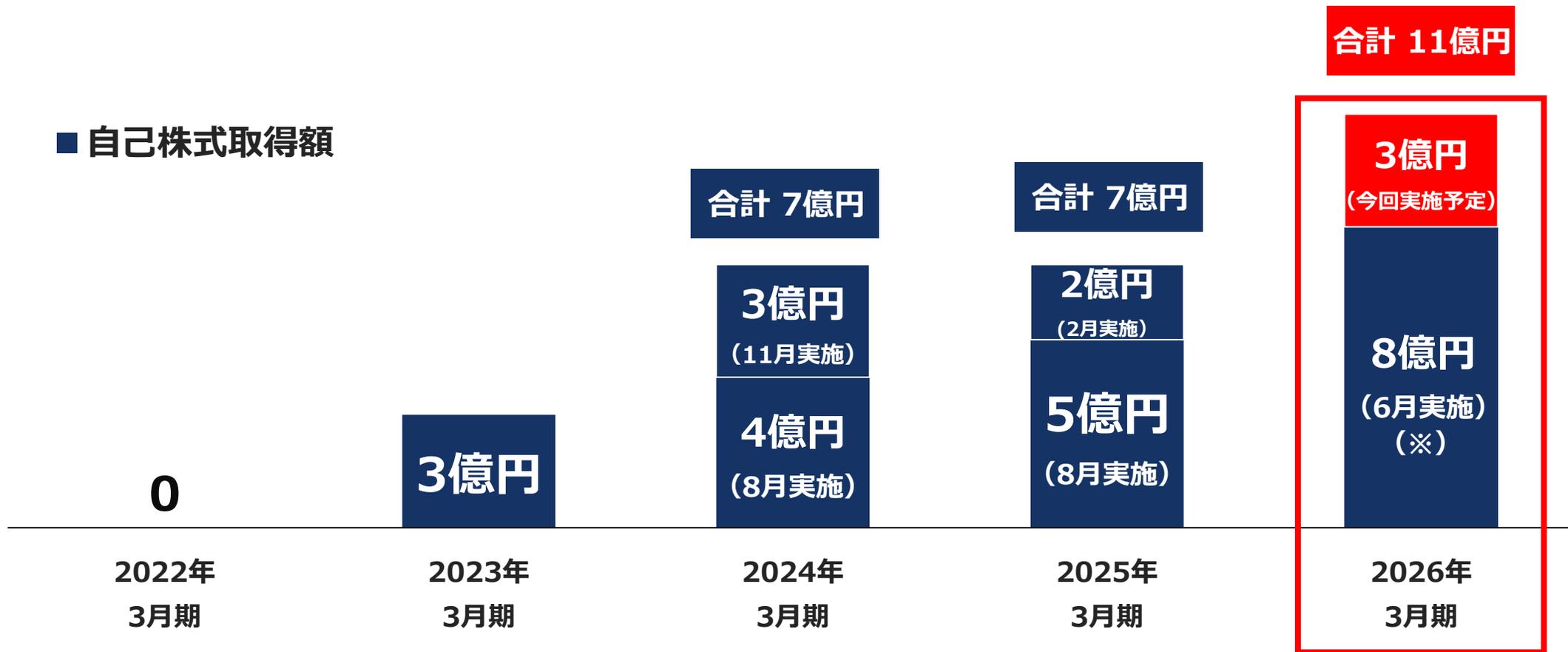
# 自己株式の取得

金融を、もっと面白く。



- ✓ 資本効率を改善させ株主価値向上に資するべく、機動的な資本政策の一環として自社株買いを行う方針
- ✓ 方針に則り、現状の業績状況および11月以降の当社株価動向を勘案し、2025年11月4日より**上限3億円の自社株買い実施を決定**

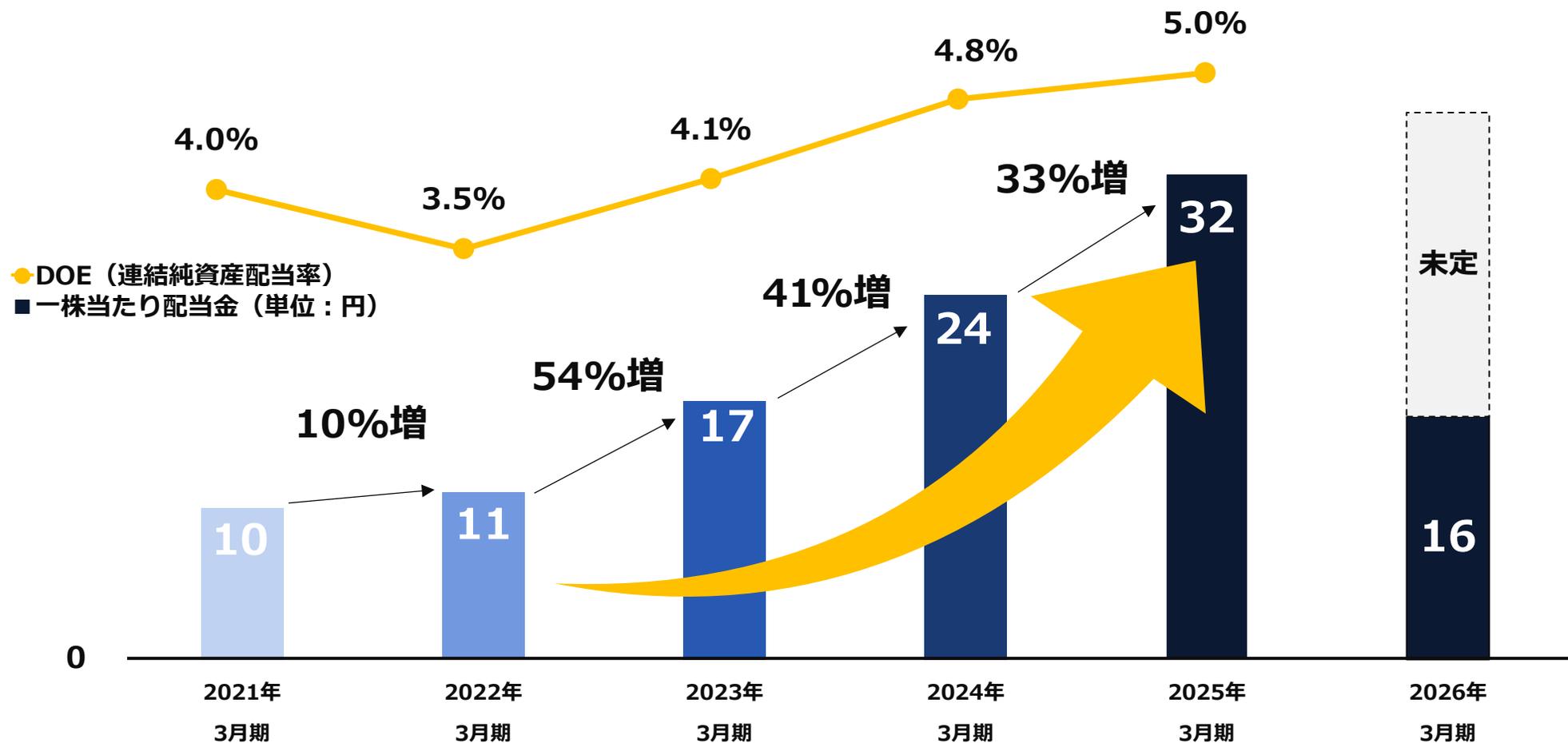
## ■ 自己株式取得額



(※) 大株主である貴多株式会社から当社株式売却の意向である旨の打診があり、市場での株価変動や需給への影響を抑制するため、相対取引で自己株式取得を実行

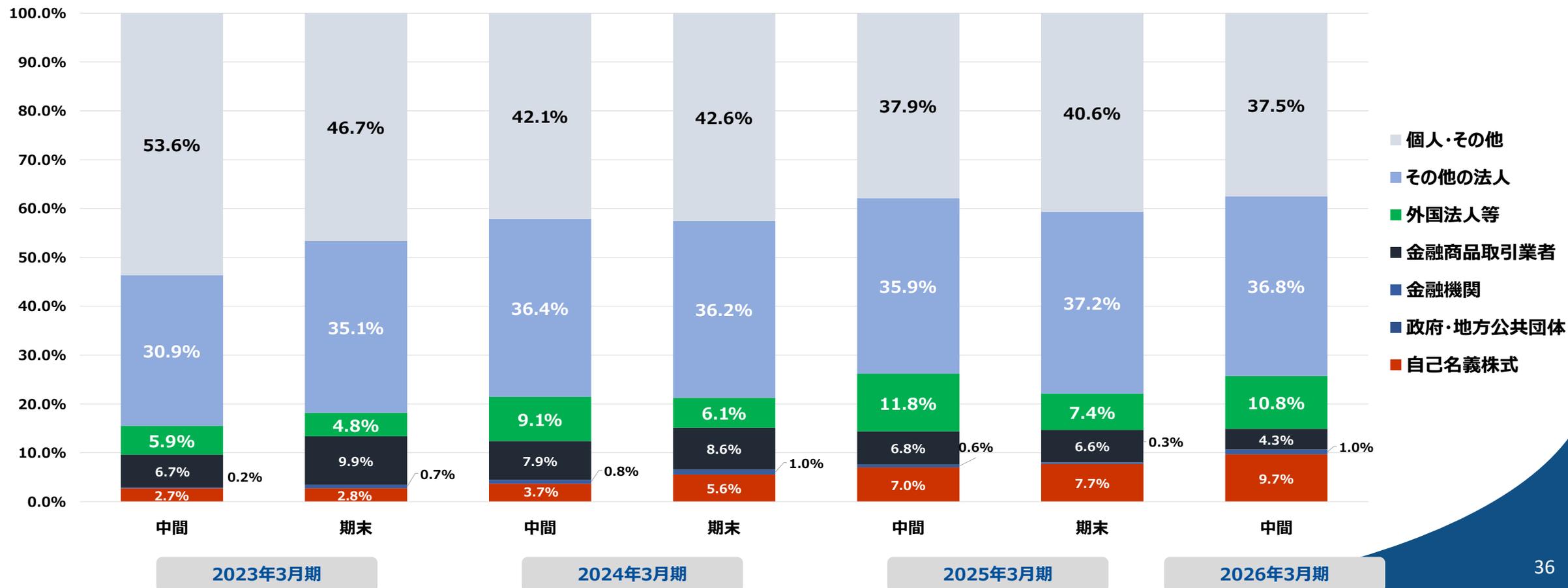
# 株主還元

- ✓ 還元方針：連結純資産配当率（DOE）4%を目安に安定的な配当および機動的な自社株買いを実施
- ✓ 配当開始以降、4期連続で増配を実現 4年間で配当金額は**3.2倍** DOEでは**5%** 今後も継続的な増配を意識
- ✓ 期末配当金に関しては、通期業績の推移を見極め、不確実性が十分縮小されたタイミングで発表



# 株式情報（保有状況分布表）

- ✓ 海外投資家比率は再び2桁を超え増加 中長期保有目的の機関投資家からの注目および保有も増加
- ✓ 大株主からの株式取得により自己株式比率は上昇、持分移動による市場への影響を最小化するとともに、株主構成の安定化を図った
- ✓ 引き続き資本政策やIRに注力し中長期志向の機関投資家による保有比率拡大、株主構成の安定化、株価の中長期的な安定を目指す



金融を、もっと面白く。



# Appendix

投資魅力の高い会社として指数構成銘柄に選定

金融を、もっと面白く。



3年連続で「JPX日経中小型株指数」構成銘柄に選定



JPX-NIKKEI Mid Small

2023 - 2025年度選定

資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、「投資者にとって投資魅力の高い会社」が採用される「JPX日経中小型株指数」に**3年連続で**選定されました

## □ JPX日経中小型株指数とは

- ✓ JPX総研と日本経済新聞社が共同で算出した、JPX日経400と同じコンセプトを中小型株に適用し、**持続的な企業価値の向上、株主を意識した経営を行っている企業**で構成する株価指数
- ✓ 東京証券取引所のプライム市場、スタンダード市場、グロース市場の対象銘柄の中から、定量的な指標のスコアリングに加え、定性的な要素を加えた基準で行われ、**上位200銘柄が選定**

# 世界的な経済紙「Forbes」アジア版より表彰

金融を、もっと面白く。

Traders

□「Forbes Asia's 200 Best Under A Billion」に2年ぶりに選定！

## Forbes Asia BEST UNDER A BILLION

- ✓ アジア太平洋地域の年間売上高1,000万ドル以上10億ドル未満の上場企業2万社以上を対象に、過去12カ月間かつ3年間にわたる売上・利益成長、及び5年間のROE の高さ等の総合的な実績に基づいて 優良な業績を収めている企業 200社を選出したもの
- ✓ 今回選出された200社のうち日本企業は25社で プライム市場14社、スタンダード市場3社、グロース市場8社 半数以上がプライム市場上場企業の中から選定
- ✓ 選定に際しては、定量的な業績基準だけでなく、企業における深刻なガバナンス問題や疑わしい会計処理、環境問題、経営問題、法的トラブルを抱える企業を除外するなどの定性的な選別も行われている

# Sustainability Policy

トレイダーズグループの考えるサステナビリティ

これまで、わたしたちは様々なステークホルダー、すなわち株主、投資家、お客様、お取引先、社員、関係諸機関等と適切に協働し、もしくは支援を得ながら、企業として少しずつ成長の道を歩んでまいりました。当社グループは、上場会社として、また、様々な事業を営む企業体として、自己の利益だけを追求することなく、これからも、金融商品取引事業とシステム開発コンサルティング事業のそれぞれの活動そのものの中で、長期的に社会や環境に貢献しうるマテリアリティへの取り組みを進めてまいります。今後、当社グループの成長をけん引するために、ステークホルダーとの協働により、社会的価値と経済的価値を向上させ、または、創造する取り組みを推進することこそが、社会や環境面におけるサステナビリティを巡る諸課題に対する、わたしたちの義務と責任であり、使命であると考えています。

## 社会的な課題の解決のために

### 金融リテラシー向上への取り組み①

昨年より引き続き当社グループが本社を置く渋谷区と連携、区内の小学校において全3回の出張授業プログラムを完了



### 金融リテラシー向上への取り組み②

前期に引き続き高校生向けのジョブシャドウイングを実施



### 当日の小学校でのプレゼンテーションの様子

昨年4月に東京都渋谷区の全公立小・中学校で探究「シブヤ未来科」が本格的にスタート。昨年も好評であった当社グループが渋谷区に提案させていただいた金融リテラシー向上支援を主眼とする出張授業プログラムを、**2年連続で区内の長谷戸小学校にて採択いただきました。**今期は6年生2クラス合計約50名にご参加いただき、全3回授業を受けていただきました。

「金融教育の推進」の一環として、8月に「ジョブシャドウイング」プログラムを実施。神奈川県私立聖光学院中学校高等学校様は昨年引き続き3年連続での実施となりました。以下参加者の皆様からのコメント

「金融サービスの最前線で働くことのやりがいと厳しさを肌で感じることができました。また、社員の皆様が常に市場の動向を注視し、スピーディーに業務に取り組む姿を拝見し、プロフェッショナルな環境で働くことへの憧れが一層強くなりました。今回の経験で得た学びを、今後のキャリア選択に活かしていきたいと考えております。」

「訪問前は金融に関するお仕事なので一人で黙々と進めていくものなのかと思っていたのですが、今回、貴社を訪問させていただく中で、しっかりと話し合って大事なところを決めたりしていたので、会社においてもチームワークは大事なのだと気づくことができました。」

「『仕事は緊張感もあるが、やはりやりがいがある』というメンターの言葉が印象に残りました。私は今まで仕事はただ辛いものだと思っていたので新鮮に感じました。今後はこの経験を活かして身に合う職業を探せたらと思います。本当にありがとうございました。」



## 社会的な課題の解決のために

### 金融リテラシー向上への取り組み③

#### 明治学院大学にて 트레이ダーズグループ初めての大学での金融経済教育を実施

財務省財務局関東財務事務所様にご協力を賜り、共同開催が実現 97%の学生から満足とご回答をいただく



明治学院大学経済学部長藤田教授より要望を受け金融の現場で働く専門家から学生に向けて投資や外国為替の基礎、金融トラブルに関する知識を提供する目的で開催  
第1部では財務省関東財務局東京財務事務所様にご協力を賜り杉山理財総括課長による「金融トラブル未然防止講座」、第2部ではトレーダーズ証券取締役で外国為替ディーラーの井口による「人生100年時代へ 新時代を生き抜く、お金との向き合い方」をテーマに講義を行いました。学生からは「長期的な資産形成の重要性についてのお話が特に印象に残りました。」「長期的な積み立てを行ううえで、複利の効果を活用することの重要性などについて学びました。」「早いうちからお金に関する知識を身につけ、正しく計画的に運用していくことが、将来の経済的な安定につながることを実感しました。」「これまで投資や貯蓄の話はどこか遠いもののように感じていましたが、今回の学びを通して、それらが自分にとっても身近で現実的なテーマであると気づくことができました。」と非常に満足度の高いコメントを頂戴しました。



# コーポレート・ガバナンスの高度化とより一層の充実に向けた取り組み

当社における東証「コーポレート・ガバナンス・コード」全原則Comply達成！！



プライム市場に  
相応しいレベルへの  
到達を目指し  
さらなるガバナンスの  
強化を進める

## Complyに向けて当社が改善してきた主な事項

### ポイント1！

【女性の活躍促進を含む社内  
の多様性の確保】

採用選考時や管理職登用判断時に性別・国籍等の属性や年齢に関わらず、求める能力・経験、業務成果等に基づいて公正な評価を実施

### ポイント2！

【サステナビリティ、人的資本や  
知財への投資についての開示】

若年層の金融リテラシー向上への取り組みを中心とした幅広い活動内容をホームページ・各種開示資料等に掲載

### ポイント3！

【サステナビリティ、人的資本や  
知財への投資について取締役  
会の関与】

取締役会により設立されたESG推進委員会が活動推進。知財戦略は専門部署を設置し推進

### ポイント4！

【資本コストや株価を意識した  
経営】

2025年3月期決算説明資料にて、自社分析・業界他社比較を行った上で自社の課題を認識し、今後の取り組みの方向性明示

# プライム市場への区分変更へ向けた今後の方針

形式基準の達成

費用対効果を含め  
課題の検証と解決

企業規模と  
ガバナンス  
の十分な強化

最適と判断した  
タイミングにて  
プライム市場へ  
区分変更申請予定

## ポイント1！

時価総額、流通株式時価総額、収益基盤、財政状態、株主数、流通株式数、流通株式比率等の形式基準はすべて達成

しかしながら、株式市場全体が大きく下落するようなタイミングでは時価総額基準を再び下回る可能性も排除できない水準

## ポイント2！

プライム市場上場企業として求められる体制整備に伴う課題・管理コストに関して多角的に検証必要

- 例
- ・海外投資家向けを含む充実した開示
  - ・女性役員比率の向上等

## ポイント3！

真にプライム市場上場企業にふさわしい企業規模とガバナンス体制の強化

# FleGrowth オフショア開発拠点

金融を、もっと面白く。



✓ 大連、ハノイ2つのオフショア開発拠点により、高収益体質を実現

## 大連拠点

コア技術を持った開発部門として、高度なシステム開発及び運用保守を行う。20年以上FXシステムの開発に携わってきたメンバー約40名が在籍。



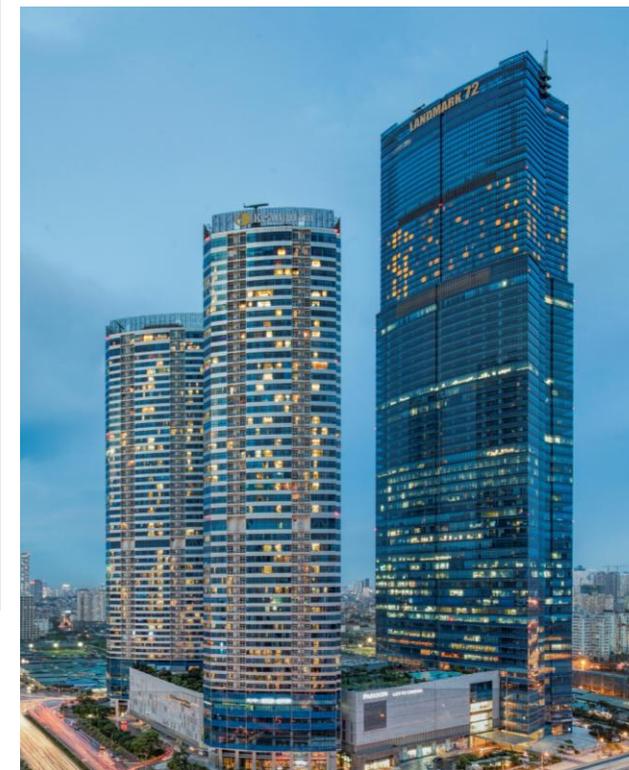
### 大連拠点の入居する大連ハイテクゾーン

大連拠点のある大連ハイテクゾーンは中国の国家級ハイテクノロジー地区の一つ中国東北ハイテクノロジー産業の集結地帯であり世界のハイテク企業・機関が集中している。北京・上海・広州に次ぐ中堅の経済都市



## ハノイ拠点

金融周辺システムの開発部門



### ハノイ拠点の入居するAONハノイランドマークタワー

ハノイで最も高くベトナムで2番目に高い建物  
ハノイ拠点所属の約110名のシステム人員が  
開発、運用保守業務に従事

金融を、もっと面白く。



MISSION

## ミッション

新たな価値を創造し続ける

Create the New Values

VISION

## ビジョン

お客様から最も信頼される“FinTech”グループとなり、  
だれもが未来に投資できる社会を実現させる

金融を、もっと面白く。

traders

VALUE

# バリュー

トレーダーズ  
ホールディングス

関わるすべての“人”を大切にしながら、  
コンプライアンスとダイバーシティ（多様性）を尊重した経営で、  
変革にチャレンジし続ける

トレーダーズ証券

金融リテラシーの向上に貢献しながら、  
お客様と社会が求める新たなサービスの提供にチャレンジし続ける

FleGrowth

競争力のあるサービスを提供しながら、スピード感をもって  
安定的かつ革新的なシステム開発にチャレンジし続ける

## 本資料に関する注意事項

当資料に掲載されている事業戦略や目標数値、見通し等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断した内容であり、実際の業績等の結果は、今後の経済情勢や事業環境、為替市場の動向等、様々な不確定要素その他リスク等に起因して、記述とは大きく異なる可能性があります。

また、マーケットシェアや市場規模等の数値について一部当社の推計値が含まれており、調査手法等によって異なる可能性があります。

本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

### 本資料に関するお問合せ

トレーダーズホールディングス株式会社  
ir@tradershd.co.jp (IR担当)



金融を、もっと面白く。